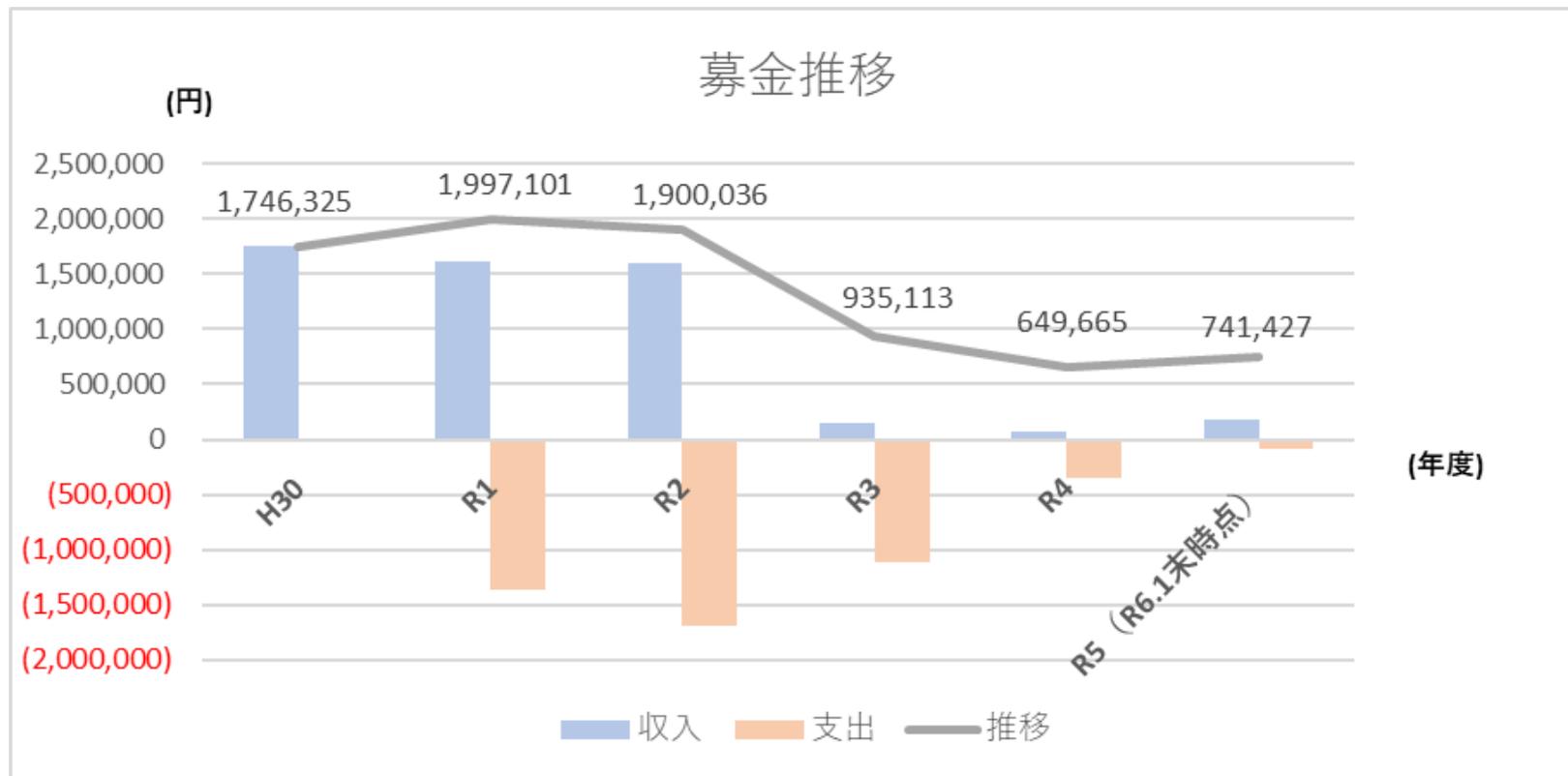


網袋でのアサリ保護・育成 寄附付き商品開発

ふしの干潟いきもの募金の現状  
山口湾あさり応援プロジェクト  
(たたき台) について

皆様のご意見をお聞かせください。

## 募金の推移について



	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (R6.1末時点)
収入	1,746,325	1,609,300	1,593,304	146,809	72,552	172,361
支出	0	1,358,524	1,690,369	1,111,732	358,000	80,599
差 (収入-支出)	1,746,325	250,776	▲ 97,065	▲ 964,923	▲ 285,448	<b>91,762</b>
推移	1,746,325	1,997,101	1,900,036	935,113	649,665	741,427

# ふしの干潟いきもの募金推内訳

## R5年度（R6.1末時点）

### 1. 収入

区分	実績額（円）	備考
前期繰越	649,665	山口銀行：482,908円、西京銀行：166,757円
募金	172,360	募金：72,360円、あいおいニッセイ寄附:100,000円
受取利息	1	山口銀行：1円、西京銀行：-円
合計	822,026	

### 2. 支出

区分	実績額（円）	備考
印刷費	5,500	あいおいニッセイ感謝状
支払手数料	385	振込手数料
事業支援費	74,714	榎野川河口干潟再生活動:50,961円 カブトガニ幼生生息調査・観察会:23,753円 アサリ再生活動に係る被覆網の購入:〇〇円
次期繰越	741,427	
合計	822,026	

	R5（R6.1末時点）
収入	172,361
支出	80,599
差（収入-支出）	<b>91,762</b>
推移	741,427

- ※「アサリ再生活動に係る被覆網の購入」未実施
- ・例年はおよそ20万円分（40～50枚）購入
  - ・単年度の収支がマイナスにならない範囲の購入とし、網袋の購入にも一部充てたい（今年度は約9万円）

# 里海づくり課題のまとめ

## 継続的な課題

### ○生物多様性の持続的な確保

アサリ等底生生物を指標とする住民参加型の活動

### ○人的資源の確保、交流の活発化

漁業者、活動団体構成員の高齢化

コロナ禍でのイベント縮小による交流の減少

協力者の確保

### ○資金調達

個人・企業からの募金、行政予算により事業継続

→自己調達手段の確保



調達先：補助金？、ブルーカーボンプレジット？、個人、企業からの募金、寄附付き商品

# 寄附付き商品 例

榎野川漁協 アユの塩焼き・鮎飯セット  
イベントでの売り上げの一部を募金へ



漁協アサリの売上を一部募金



寄附付き商品は、継続的な資金調達の一助となる → 網袋でのアサリ保護・育成との連携

# 共感者を増やす工夫



**会員募集**

つなげよう、  
支えよう  
森里川海

# ふしの干潟ファンクラブ

樺野川河口域・干潟自然再生協議会は、全国的にも貴重な自然“**樺野川河口干潟・山口湾**”の里海づくりに取り組んでいます。  
『ふしの干潟ファンクラブ』は、この取組に共感する方とのつながりを大切にするを目的として設立しました。  
会員には、イベントやボランティア活動の参加者募集の情報、生き物に関する情報などを配信しています。

- ✓ 活動共感者との“つながり”をつくり、活動の担い手、ボランティア等の安定的な確保、情報発信の活性化を図る
- ✓ 活動の参加者にはリピーターが多く、これまで協議会委員のみで行ってきた活動にも協力が得られるようになった

### 3 生物多様性保全のための取組について

#### (1) 生物多様性保全活動への取組状況

問5. あなたは、生物多様性の保全に貢献する行動として、次にあげる行動の中で既に取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

地産地消→食べて応援している人が多数

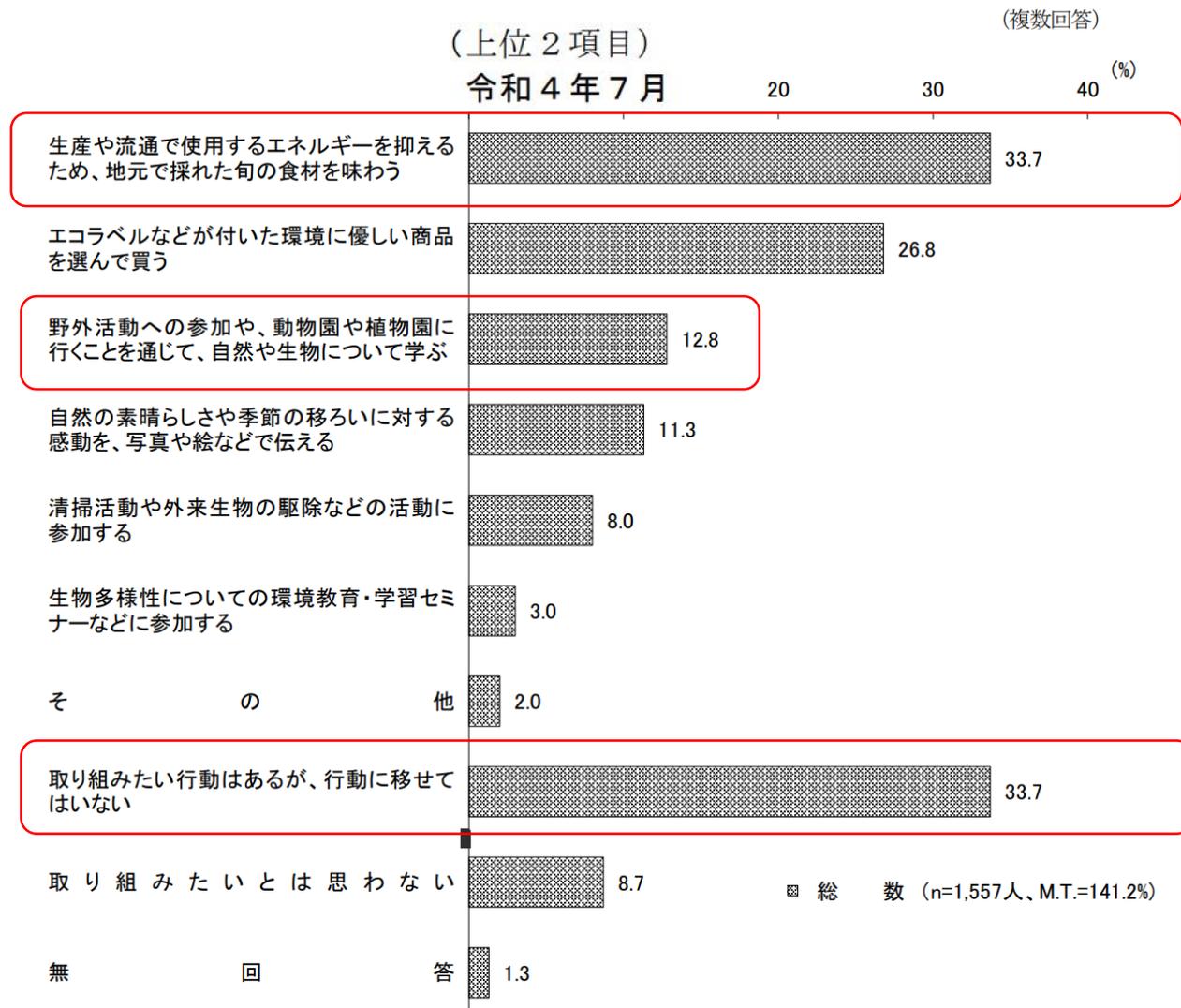
野外活動→実際の活動にも参加している

行動に移せていない人が多数



行動に移せるよう、ハードルを下げる活動をしってもらい、応援してもらおう

→地産地消による応援が有効



# 網袋アサリ応援イメージ

## ステップ1

漁協から網袋を生きもの募金で購入

県漁協吉佐支店

網袋購入  
200枚

自然再生協議会  
持続可能な瀬戸海づくりWG  
榎野川連携促進会議

## ステップ2

網袋を活動参加者に1枚ずつ配付  
寄附者には1枚追加（特典）

自然再生協議会  
持続可能な瀬戸海づくりWG  
榎野川連携促進会議

網袋配付  
寄附特典

一般市民  
ボランティア

活動して応援  
したい人  
をターゲット

## ステップ3

網袋を維持管理→被覆網下放流  
後、維持管理

自然再生協議会

5月 網袋成育

一般市民  
ボランティア

7月 網袋開封  
→網下へ

翌年5月～ 採捕

## ステップ4

市場などで販売、売上の一部を  
漁協からいきもの募金へ寄附

食べて応援の  
人を増やす

一般市民

販売  
売上

県漁協吉佐支店

いきもの募金  
売上一部を還元

**ポイント①** これまでは漁協の活動と自然再生活動を連携  
➡ 漁協の活動者の減少に対応する必要

漁協は、資材と販売を担い（一部作業手伝い）、ボランティアでアサリ保護＋育成を実施する

ボランティアには、1枚を配付、追加が必要な場合は、プレミアムとして100円（寄附）で1枚お礼として袋を追加できる

【課題】 還元方法

**ポイント②** 食べて応援の人を増やす

ボランティアで活動した成果は、持ち帰りがほとんど、これからは市場に再度出回る量を増やす

販売を漁協にしてもらい、一部をふしの干潟いきもの募金へ還元（袋代を賄う）